

	意見	対応
表紙とP27P28	<p>◎「自然」「エネルギー」「コミュニティ」「循環」について</p> <p>コミュニティと循環がどのようにかみあうのか分かりにくい。</p> <p>◎産業界のかかわりについて</p> <p>①産業界がどこにも出てこない。市民とともに産業界も含めた「人」という概念で組み立てるべきだ。</p> <p>②人には市民(滞在者・勤労者含む)・産業界・行政を含むのが前提。</p> <p>事業者のことも書くことを検討してほしい。県の条例と実行計画をよく読み、どの市町にも応用できる。何%減らすなどの数値をあげられなくても責任はみんなで担っていくという原則でいってほしい。</p> <p>◎サブタイトルについて</p> <p>①サブタイトルはつけずに、例えば「名張のこれからの取組」として、この図を添えれば、つながりがでるのではないか。</p> <p>②図はエッセンスだけかいてあり、キャッチはシンプルなものにしているので、中身に※印でもしてこれは何を表しているかをつけるようにする。人とは、自然とは、エネルギーとは、スマートシティとはこうだということがわかるよう工夫してほしい。</p> <p>P27を見ればわかるように。</p> <p>◎キーワードが、「人」「自然」「エネルギー」となっているなら、そのままイメージ図にしたほうが分かりやすいのではないか。</p>	<p>第2回審議会への提案では、「スマートシティなばり」の副題である「みんなで創るグリーンエネルギー都市」のキーワードとして、「自然」「低炭素・省エネルギー」「循環」をエッセンスとしていましたが、前回の審議会でご議論をいただいた結果、キャッチがシンプル(人と自然とエネルギーの調和するスマートシティなばり)になったことや、ご意見をいただいたことを参考に「人」「自然」「エネルギー」に改めました。</p> <p>また、人の部分では市民、産業界(事業者)、地域社会、コミュニティ、行政等すべてを含むことが前提であることや、エネルギーの中には、エネルギーそのものでなく、利活用の手法としての創エネ・省エネ・蓄エネを概念図に表記しました。</p> <p>なお、産業界(事業者)の取組については、三重県地球温暖化対策推進条例の第4条(事業者の責務)として規定されており、その取組内容は、三重県地球温暖化対策実行計画で明記されていることから、県主導で事業推進されることから、当プランへの事業者の具体的取組については明記せず、総論での協働に留めます。</p>
P4	<p>◎計画の位置づけについて(追記)</p> <p>【三重県】三重県地球温暖化対策実行計画 三重県地球温暖化対策推進条例</p>	追記修正しました。
P16	<p>◎グラフについて</p> <p>横軸1990年と2007年との間を区別した方がよい。</p>	修正しました。

P27	<p>◎P27 (P1)「地域資源」の定義</p> <p>地域資源は自然だけではなく、お金、人、文化などその地域の特徴を指しているのので、ここに「地域資源」を入れるのは抵抗がある。</p>	<p>混乱を招く恐れがあるため、「地域資源」を削除しました。</p>
P31	<p>◎蓄エネルギーについて</p> <p>名張市の特徴、災害に強いまちを生かすとき、例えば新神戸電機が大きな蓄電池をつくっている。自然エネルギーの不安定な変動をその蓄電池で平準化させるなどそのような機能について、名張市の特徴として生きてくるのではないか。</p>	<p>蓄電池の普及促進も重要と認識していますが、特定の企業支援のや、自治体から普及促進の発信について記載することは難しい。参考とします。</p>
P33	<p>◎ 公共交通機関の利用について</p> <p>三重県の新しい条例「三重県地球温暖化対策推進条例」の中で、イベント時の公共交通機関の利用について謳っている。このプランにも入れてほしい。</p>	<p>三重県地球温暖化対策推進条例の第17条に規定されていますが、イベント時と限定することよりも、総論としての位置付けでよいのではないか。「通勤及び業務時の移動や休暇におけるレジャー等・・・。」 意見とします。</p>
P36	<p>◎ 木質バイオマスの利用促進について</p> <p>P37 のスケジュールでは「ペレットストーブ等の普及促進」に置きかわっている。言葉を統一したほうが良いのではないか。</p>	<p>修正しました。</p>
P42 ・43	<p>◎新エネルギー導入による効果での記載について</p> <p>平成29年度の導入目標で、(1)は目標が現状+増加分、(2)は増加分のみ、(3)は増加分のみ(記載はある)となっていて把握しにくいので工夫してほしい。</p>	<p>設定データの欄に、(増加分)を追記しました。</p>
全体	<p>◎エネルギーを総称する言葉について</p> <p>全体を通じ、文章の中に「自然エネルギー」「再生可能エネルギー」「新エネルギー」「グリーンエネルギー」「クリーンエネルギー」など新しいエネルギーを総称する言葉が色々でてくるので統一した方がよい。</p> <p>理想郷プランでは「新エネルギー」となっているのでも整合性も必要では。</p>	<p>影響を及ぼさない範囲で「新エネルギー」に修正しました。</p> <p>※「新エネルギー」とは、自然プロセス由来で絶えず補給される太陽、風力、バイオマス、地熱、水力等から生成される「再生可能エネルギー」のうち、技術的には導入段階にあるもののコストが高いため、その普及に支援を必要とするものを指します。</p>
	<p>◎計画名称の統一について</p> <p>全体を通じ、〇〇プラン、〇〇計画、〇〇プログラムとでてくるが、正式名称が書いてあるのと省略して書いてあるのと統一した方が分かりやすい。</p>	<p>統一を図りました。</p>

意見	<p>◎P16 では、2010 年度CO₂ 排出量 593 千トン、P43 では温室効果ガス削減効果が 5571 トンとなっており、これだけのことをやって 1%しか削減できない。それほど大変なことであれば市民・企業・行政が三位一体になってやっていくべきである。1%削減なら家庭でも可能である。</p> <p>◎「未利用間伐材の木質バイオマス発電の燃料として活用推進」について他市は 3500 円/m³の補助、名張市は 6000 円/m³の補助となっている。県と松阪市と周辺の地域がもめている状況で大変な事業になっているのではないかと。その辺も知っておいた方がよい。</p>	<p>意見にとどめます。</p> <p>山→マルタピア（原木）→ウッドピア（チップ化）→エネウッド（発電）</p> <p>間伐材の買取価格 3500、市からの搬出支援金 2500 で計 6000 です。</p> <p>周辺地域での問題については承知していないとのこと。</p> <p style="text-align: right;">（産業部確認）。</p>
----	---	---

その他（追加での意見）

P7	<p>イ。「・・送電施設が不要になる・・」とあるが、短くはなるが不要にはならないのでは？</p>	<p>「短く」に修正しました。</p>
P8	<p>(イ)の「・」2つ目の記述において「風のエネルギーの約 40%を利用でき」となっているが、引用先の資源エネルギー庁の文章にはこういった文言はなく、「風力エネルギーは高効率で」となっているが、間違いでは？</p>	<p>修正しました。</p>
P8	<p>◎ウの「・」2つ目と4つ目の違いが分かりにくい。共に廃棄物の有効利用を謳っている。</p> <p>2つ目は、資源の有効利用であり、4つ目は不法投棄による環境影響やカラスなどによる環境影響（ごみの散乱）が改善されるという意味？市のプランに引用記載する以上、市として説明ができないといけない。</p>	<p>2つ目は、循環型社会の構築、4つ目は地域環境の改善についてのことを記述しています。</p>
P8	<p>◎エの「・」4つ目に「河川環境の改善にもメリットがあり、・・・」との記述があるが、どういった改善につながるのかが不明。</p> <p>逆に、課題にあげられているように、魚の生息環境に悪影響を与えるおそれがあり、内容が矛盾するように思われる。市のプランに引用記載する以上、市として説明ができないといけない。</p>	<p>河川環境のメリットとは、小規模の水力発電による直接的なメリットでなく、大規模発電（ダムの建設等による環境破壊、人家の水没など）との比較により、小規模が故の①環境への影響が少ない②護岸の改修③水源域の清掃管理などのことがメリットである。</p> <p style="text-align: right;">（資源エネルギー庁確認）</p>
P31	<p>スケジュール表については、点線と実線の注釈が必要である。</p>	<p>注釈を挿入しました。</p>

P31	<p>◎小水力発電の記述において、「年間を通じて安定した発電が可能」とされているが、大規模なものほどの影響は受けないにしろ、少なからず降雨量により影響を受けるのではないか。⇒「年間を通じて比較的安定した発電が可能」とするなどした方がよいのでは。</p> <p>◎また、小水力発電は小規模水力発電とした方が、小型風力発電とのバランスがとれるのではないか。</p>	<p>「比較的」を挿入しました。</p> <p>小規模を挿入しました。</p>
P34	<p>「主な施策の実施計画」及びp.39の「重点的な取組の実施計画」中、「充電スタンドの整備と普及促進」は平成25年度から26年度にかけての短い期間しか記載がないが、これは市役所に整備する充電器の整備期間であって、その他施設への普及啓発期間が抜けているので記載されたい。</p>	<p>継続した取組として、修正しました。</p>
P36	<p>木質バイオマス等の燃料としての利用にあたっては、大気汚染（ばい煙）や廃棄物（燃え殻）の問題が危惧されるので、文章中に「環境に配慮した適正利用」などを謳う必要がある。</p>	<p>マキストーブに比べて煙なく不完全燃焼しないため、ススも出ない。すべて燃え尽きます。このことから、あえて文中に記載する必要もないのではないかと考えます。</p>
全体	<p>全体的な、誤字・脱字・表現の修正</p>	<p>全般的に多数の箇所を修正しました。</p>
	<p>その他</p> <p>良い自然と良い環境は、ある程度リンクするものと考えます。公共施設等への新エネルギーの導入・転換は必要と思いますが、あと一歩踏み込んだ現在の名張市名張市のバックボーンにある自然観光都市として、自然素材の赤目四十八滝復活への調和の取組として、アピール力十分な新エネルギー候補地として、滝地区への小水力発電の導入による新エネルギー化モデル地区の取組が名張らしさにつながるものと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、赤目地区は小水力、美旗地区はバイオマスの活用、〇〇地区は太陽光といったまちづくりがP34ページにある地域資源活用推進事業を想定してしますが、現時点では地域指定した事業化の明記が困難なため、プランへの記載は留めます。</p>